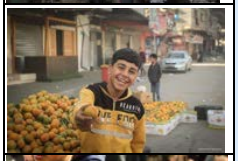
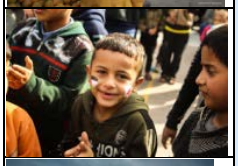
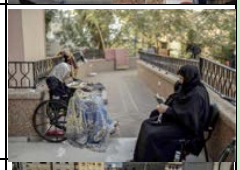
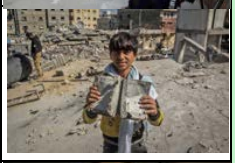
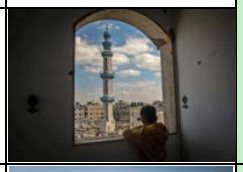
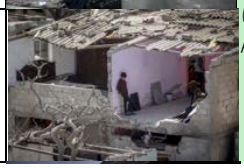
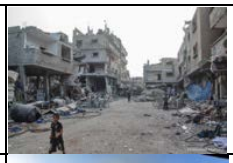
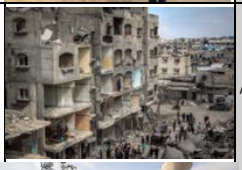
番号		印刷サイズ	撮影詳細	キャプション
Ⅰm		A3	撮影日：2023年11月13日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour 協力：朝日新聞	モハマッド26歳 ガザ戦争が始まった直後から、彼はPressと書かれた防弾チョッキに身につけ、ガザ各地での取材を開始した。すでにガソリンなどの入手が難しくなっていたため、移動はロバで行っていた。

入3		4枚を一つにまとめてA２とする	撮影日：2023年11月25日 撮影場所：ラファ, ガザ地区 協力：朝日新聞	戦争下や過酷な状況で、モハマッドが見つけ色彩。いずれもガザの人々の優しさや強さを感じることができる、ガザを愛したモハマッドの代表作。
			撮影日：2023年11月25日 撮影場所：ラファ, ガザ地区 協力：朝日新聞	
			撮影日：2024年1月8日 撮影場所：ラファ, ガザ地区	
			撮影日：2025年1月19日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 協力：朝日新聞	
Ⅱ①a		A4	撮影日：2023年10月15日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	ガザ地区には上下水道はなく、建物の上に貯水タンクを設置して各家庭で使用している。戦争開始直後、水の搬入がストップしたため、給水場が唯一の水場となった。
Ⅱ①f		A4	撮影日：2023年11月28日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	一時休戦時は戦闘再開に備えて、皆食糧確保に奔走する。ここでも子どもたちが大活躍！
Ⅱ①g		A4	撮影日：2023年11月30日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	スマホ充電の見張り番。電気が使える時間はスマホの充電が殺到する。ガザでもスマホはライフラインの一つ。
Ⅱ①h		A4	撮影日：2023年12月2日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour 協力：朝日新聞	戦争が始まり、電気がほとんど使えなくなった。仕立屋のアエド・サルハさんは自転車の車輪で動くミシンに改造。アエドさんの息子ムハンマド君は、自転車こぎのお手伝いでお父さんと話す時間が増えたと喜んでいる。（朝日新聞デジタル、2023年12月6日記事より）
Ⅱ①i		A4	撮影日：2023年11月25日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour 協力：朝日新聞	一時休戦時には街に笑顔が戻る。誰もが日常の生活を過ごしたい。ケバブ屋の少年も満面の笑みでケバブを差し出した。
Ⅱ②a		A4	撮影日：2025年3月6日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	「学校が再開すると聞いた時は、期待で胸が膨らんだ。でも校庭から聞こえる歓声、楽しいおしゃべり、椅子に座っていた環境、全てが今はもう存在しないことを思い知らされた」（アスマ・アブスルタンさん17歳）（朝日新聞デジタル、2025年3月2日記事より）
Ⅱ②c		A4	撮影日：2025年3月6日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	瓦礫からノートと鉛筆を見つけ出した少年。戦争は子どもの学びすら奪っていく。

Ⅱ③a		A4	撮影日：2025年2月20日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	避難所でPFA（心理的応急処置）を実施。子どもたちの笑顔がまぶしい。PFAでは、安心できる場所を提供し、楽しさを感じる活動を通して、生きる希望を見出していく。
Ⅱ④a		4枚を一つにまとめてA3	撮影日：2023年10月22日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	戦禍でも小さな命を守り、愛でるガザの人々。 右下の写真（Ⅱ④d）で、空の鳥籠をもつ姉妹は飼っていた小鳥を逃し、ハンユニスへと避難していった。
Ⅱ④b			撮影日：2023年10月22日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	
Ⅱ④c			撮影日：2023年10月25日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour 協力：朝日新聞	
Ⅱ④d			撮影日：2024年5月15日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour 協力：朝日新聞	
Ⅱ⑤a		4枚を一つにまとめてA3	撮影日：2023年10月18日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	ガザ地区住民のほとんどがイスラム教徒で、イスラムの教えが心の拠り所。 左下の写真（Ⅱ⑤c）の少年は瓦礫からコーランを見つけ、満面の笑みになった。
Ⅱ⑤b			撮影日：2023年10月18日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	
Ⅱ⑤c			撮影日：2024年11月23日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者： Mohmmed Mansour	
Ⅱ⑤d			撮影日：2024年11月23日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	
Ⅱ⑥a		4枚を一つにまとめてA3	撮影日：2025年3月6日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	「人々は希望を持って生きていけなくなった。私もその一人だ。」（モハマッド・マンスール）（朝日新聞デジタル、2024年4月6日記事より）
Ⅱ⑥b			撮影日：2023年10月18日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	
Ⅱ⑥c			撮影日：2024年11月23日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	

Ⅱ⑥d			撮影日：2023年12月6日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	

Ⅲ①c		A4	撮影日：2023年10月29日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	レンガとセメントで作られる建物。攻撃で空洞化し、骨組みだけが残されている。ガザでは家族が増えると上層階に建て増しする。建物から伸びる鉄筋は未来への希望だった。
Ⅲ①d		A4	撮影日：2023年12月3日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	そこが何だったかがわからないほど、建物は粉微塵の瓦礫になった。そんな場所がどんどん増えていき、今ではガザ全域が瓦礫で埋め尽くされている。
Ⅲ①k		A4	撮影日：2024年5月17日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	美しいガザの海岸線は、家を破壊された人々のテントで埋めつくされている。
Ⅲ①l		A4	撮影日：2024年11月23日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	「ラファには、もう家なんてない。何とか探し出した破壊を免れている場所で暮らすだけ。」（モハマッド・マンスール）
Ⅲ②d		A4	撮影日：2023年12月1日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	現状を嘆きながら避難する女性。戦争が始まって、ラファの人口は何倍にも膨れ上がった。2023年12月頃になると、ラファでも日中に爆撃音が頻繁に聞かれるようになった。
Ⅲ③a		A4	撮影日：2023年10月21日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	「子どもたちは、ハマスなんて知らなかった。もちろん、何の関係もなかった。」（7歳の息子を空爆で亡くしたアマル・アルハワジャさんの言葉より、朝日新聞デジタル、2023年11月11日記事）。至る所で子どもたちが被害を受けている。
Ⅲ③d		A4	撮影日：2024年3月5日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	少女の空虚な瞳が、凄惨な戦争を物語る。
Ⅲ③e		A4	撮影日：2023年10月18日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	破壊された建物から幼い子どもを救出する。
Ⅲ④a		4枚を一つにまとめて	撮影日：2023年10月18日 撮影場所：ガザ市、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	誰もが、家族、親戚、友人など、大切な誰かを失い深い
Ⅲ④b			撮影日：2023年10月18日 撮影場所：ガザ市、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	

				悲しみにくれる。
Ⅲ④c		A3	撮影日：2023年10月18日 撮影場所：ガザ市、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	
Ⅲ④d			撮影日：2023年10月11日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	
Ⅲ⑤c		A4	撮影日：2023年11月6日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	病院には次々を負傷者が運び込まれてくる。この病院も建物の外にベッドや機材を置き、負傷者の手当てを行っている。
Ⅲ⑤f		A4	撮影日：2023年10月18日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	戦争の攻撃により、ケガをして病院に運び込まれる少年。医療スタッフの懸命な治療が日々続けられている。
Ⅲ⑤g		A4	撮影日：2023年10月18日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	突然の避難を強いられ、子どもも大人もみんな疲れきっていた。大人は両手に荷物を抱えて避難するので、長い距離を歩けないような小さな子どもであっても、自分の足で歩いて避難する。